

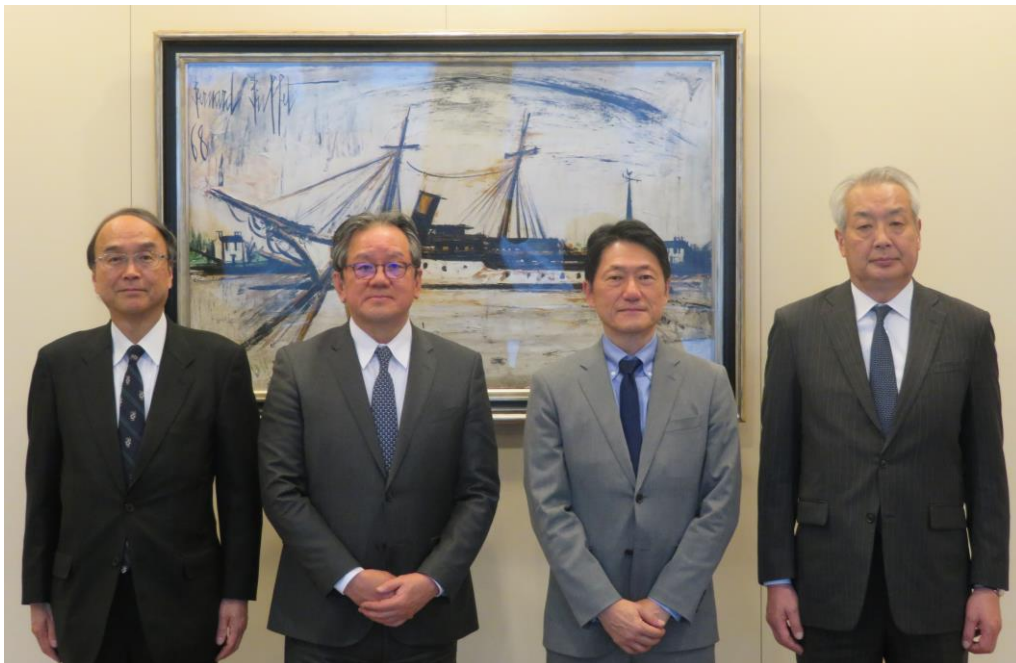
福島駐パナマ大使と当協会会長の面談

3月5日、福島秀夫駐パナマ日本国特命全権大使が川崎汽船本社を訪問され、明珍会長、土屋副会長、森重理事長と面談を行いました。

面談の冒頭には、明珍会長より、日頃より当協会の活動に際し同大使館からご支援いただいていること、また2月23日の上川外務大臣によるパナマ訪問の際にも日本商船隊への配慮についてご指摘いただいたことに感謝の意を表明しました。

福島大使からは、日本国大使館として、日本商船隊の円滑な運航に向け業界の活動を継続的に支援していくことに加え、現下の渇水状況をめぐるパナマ運河庁による対応への当協会懸念事項（十分な予見可能性・公平性が確保されていないのではないか）を共有しており引き続きできる限り協力していきたい旨のご発言があるとともに、同国における渇水への長期対策に関連し、リオ・インディオ地区におけるダム建設にまつわる政治・社会状況について解説いただきました。

当協会としては、今後も同大使館をはじめとした関係当局と協力し、円滑な国際物流の確保を図るべく活動してまいります。



（左より） 森重理事長、明珍会長、福島大使、土屋副会長